



平成30年度 よこはま夢ファンド報告書



横浜市

よこはま夢ファンド制度の概要

『よこはま夢ファンド』（横浜市市民活動推進基金）は、ふるさと納税制度を活用した、市民活動をみんなで支えるための基金です。

平成30年度も『よこはま夢ファンド』にたくさんのご寄附をいただきました。ありがとうございました。

このたび、平成30年度の活用状況についてご報告させていただきます。

これからも皆さまのお気持ちを無駄にすることなく、地域や社会に欠かせない市民活動を応援してまいります。

今後とも『よこはま夢ファンド』をよろしくお願いいたします。

よこはま夢ファンドの仕組み

皆さまからのご寄附は、よこはま夢ファンド(横浜市市民活動推進基金)に積み立てて、よこはま夢ファンドにあらかじめ登録しているNPO法人への助成や、市民活動団体への専門アドバイザーの派遣、団体の会計・税務・労務・組織運営などの各種講座等の開催などに活用させていただいております。

市民の皆さま、企業の皆さまなどからのご寄附

「よこはま夢ファンド(横浜市市民活動推進基金)」に積み立てます

登録団体への支援

●登録団体助成金

登録しているNPO法人へ財政的な支援を行います。

●組織基盤強化助成金

「人材」「資金」「情報」などの組織の基盤を強化するための取組に助成します。

◆外部委員による審査について
各種助成金の申請や団体の登録については、次の審査会で審査を行います。

- ・横浜市市民協働推進委員会
- ・横浜市市民活動運営支援事業部会

市民活動団体への支援

●専門アドバイザー派遣

市民活動団体の運営に詳しい専門アドバイザー(税理士や社会保険労務士、建築士)を派遣しアドバイスを行います。

●中間支援組織による相談事業

市民活動支援専門アドバイザーを派遣し、アドバイスを行います。

●各種講座の実施

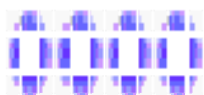
会計、税務、労務、組織運営等に関する講座を定期的で開催し、市民活動団体の活動を支援しています。

●登録団体助成金

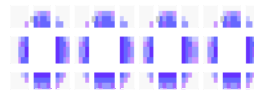
登録団体に対して事業費の助成を行います。福祉、環境、まちづくり、文化・スポーツなど、登録団体が実施する幅広い分野の活動を財政的に支援します。

●組織基盤強化助成金

登録団体が、安定的・継続的に運営を行うために、「人材」「資金」「情報」などの資源を充実させ、組織の力をつけていくための助成金です。ファシリテーターを活用した“自己評価”の機会の提供や、この助成金を受けている団体同士の情報交換会を開催し、団体の組織基盤強化を支援します。



よこはま夢ファンドの特色



<特色1>

寄附の際、支援したいNPO法人の団体名や活動分野を希望できます。

【団体】

登録しているNPO法人 219団体(令和元年8月末現在)

※よこはま夢ファンドのホームページに、登録団体の一覧が掲載されています。

【活動分野】

- ①保健・福祉・子ども(保健・医療、福祉、子どもの健全育成)
- ②まちづくり・環境(まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興)
- ③文化・スポーツ(生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術)
- ④国際・人権・平和(国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画)
- ⑤経済・観光振興(情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興)

<特色2>

寄附していただくと、税制上の優遇措置が受けられます。(ふるさと納税)

(個人の場合は所得税・住民税の控除、法人の場合は全額損金算入)

— ふるさと納税 —

ふるさと納税とは、自分の選んだ自治体に寄附(ふるさと納税)を行った場合に、寄附額のうち2,000円を越える部分について、所得税と住民税から原則として全額が控除される制度です(一定の上限はあります)。

寄附していただくと、税制上の優遇措置が受けられます。

ふるさと納税額(寄附金額) (例:個人の方の場合)

所得税の控除額 (寄附金額-2,000円) × 所得税の税率	住民税の控除額 基本分(寄附金額-2,000円)×10%(住民税の税率) + 特例分 住民税所得割の2割が上限	自己負担額 2,000円
--	---	------------------------

- ・所得税の控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の40%が上限です。
- ・所得税率は課税所得に応じて異なります。
- ・住民税の控除(基本分)の対象となる寄附金額は、総所得金額等の30%が上限です。
- ※寄附金控除を受けるには税務署で確定申告を行うか、ワンストップ特例申請書を提出する必要があります。詳細は総務省等のホームページをご確認ください。

平成30年度 よこはま夢ファンドの報告

— 収入の部 —

＜平成30年度にいただいたご寄附＞ 件数 373件 総額 30,510,805円

○希望する団体への寄附	355件	計 28,360,831円
-------------	------	---------------

○希望する活動分野への寄附	10件	計 1,365,058円
---------------	-----	--------------

分野別内訳	保健・福祉・子ども	保健・医療、福祉、子どもの健全育成	6件	1,267,607円
	まちづくり・環境	まちづくり、環境、災害救援・地域安全、市民活動支援、農山漁村又は中山間地域振興	3件	95,410円
	文化・スポーツ	生涯学習・社会教育、文化・芸術、スポーツ・レクリエーション、科学技術	0件	0円
	国際・人権・平和	国際交流・国際協力、人権・平和、男女共同参画	1件	2,041円
	経済・観光振興	情報化社会、経済活動・消費者の保護、職業能力開発・雇用機会拡充、観光振興	0件	0円

○希望の分野や団体を指定しない寄附	8件	計 784,916円
-------------------	----	------------

※創設～平成31年3月までに、合計2,156件:総額293,566,971円の寄附をいただいています。

平成30年度にご寄附いただいた方々

❖❖❖❖❖❖お名前とご寄附金額の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※五十音順❖❖❖❖❖❖

飛鳥田 一朗 様	10,000円	尾上 浩一 様	70,000円
新井 雄一 様	50,000円	岡本 輝行 様	20,000円
五十嵐 邦夫 様	30,000円	小田 喜子 様	300,000円
池永 秀幸 様	500,000円	小野 ひとみ 様	1,000円
井坂 誠司 様	550,000円	小野 泰裕 様	1,000円
市村 正也 様	30,000円	片山 優 様	10,000円
伊藤 孝雄 様	50,000円	加藤 邦夫 様	1,000,000円
井上 双美 様	60,000円	川崎 茂 様	10,000円
井上 文男 様	20,000円	木村 正宏 様	20,000円
井元 健太 様	7,800円	窪田 太郎 様	20,000円
岩見 梓司 様	10,000円	久保田 真理子 様	10,000円
上浪 節子 様	20,000円	腰原 誠 様	300,000円
上浪 冬実 様	20,000円	小林 淳志 様	100,000円
上村 隆 様	20,000円	小林 猛 様	60,000円
牛越 信雄 様	30,000円	齋藤 實 様	500,000円
内田 博子 様	3,000円	榮 千彰 様	10,000円
内山 勝文 様	50,000円	塩川 哲男 様	10,000円
近江 幹子 様	20,000円	茂垣 達也 様	50,000円
大槻 茂久 様	50,000円	柴田 まり子 様	20,000円
岡田 俊英 様	30,000円	清水 和子 様	10,000円

末永 光海 様	2,041円	平本 直子 様	10,000円
瀬嵐 理恵 様	10,000円	平元 周 様	200,000円
高橋 淳 様	5,000円	藤田 健一 様	10,000円
田口 繁雄 様	20,000円	保坂 正伯 様	20,000円
武井 浩 様	30,000円	法橋 頌高 様	10,000円
立原 淳 様	25,000円	前田 治 様	40,000円
建部 昌臣 様	47,520円	増山 愛子 様	10,000円
田林 巖樹 様	20,000円	松尾 順子 様	5,000円
都坂 和真 様	80,000円	松崎 紀樹 様	3,000円
寺澤 行忠 様	10,000円	三角 忠 様	50,000円
豊田 和子 様	20,000円	三宅 はつえ 様	25,000円
豊田 直之 様	60,000円	森 一俊 様	50,000円
中川 武夫 様	30,000円	森本 聡 様	30,000円
仲山 市朗 様	10,000円	柳谷 智章 様	10,000円
西堀 健 様	60,000円	山口 剛史 様	20,000円
根岸 秀行 様	10,000円	山本 昭彦 様	20,000円
橋本 良三 様	5,000円	山本 経国 様	100,000円
早野 雅裕 様	20,000円	山本 浩正 様	50,000円
原内 洋輔 様	40,000円	山本 真紀 様	100,000円
日野 順三 様	10,000円	依藤 正次 様	20,000円

安藤建設安全衛生協議会 様
700,000円

株式会社 I J K コンサル 様
100,000円

一般財団法人 よこしんふれあい財団
理事長 大前 茂 様
1,000,000円

株式会社エムアイピー 様
50,000円

一般社団法人横浜市港南区医師会 様
40,171円

株式会社テクノシップ 様
50,000円

一般社団法人 横浜市建築士事務所協会 様
70,410円

ふかわ矯正歯科 府川 俊彦 様
300,000円

一般社団法人 日本釣用品工業会 様
14,000円

丸忠運輸株式会社 様
30,000円

一般社団法人 日本釣用品工業会
Japan Fishing Show 2018 in YOKOHAMA 様
20,000円

有限会社がんこ本舗 木村 正宏 様
300,000円

神奈川福祉事業協会 会長 伊坂 重憲 様
500,000円

ロッキンヨコハマ155実行委員会 様
100,000円



お名前の公表をご了解いただいた寄附者の皆様 ※五十音順

浅岡 浩行 様	菊地 栄 様	富永 岳 様	最上 重夫 様
安食 和博 様	久保田 龍士 様	豊田 茂芳 様	最上 真理子 様
安食 美和 様	倉林 敦子 様	内藤 達夫 様	本橋 麻衣子 様
天野 智和 様	倉本 宣 様	長井 麻美 様	本橋 篤 様
荒木 剛夫 様	黒坂 豊 様	中島 憲次 様	森 二郎 様
荒木 真登 様	桑原 清 様	中島 晃紀 様	森田 修 様
安藤 紘史 様	小島 俊 様	長島 敏光 様	森平 直子 様
安藤 竜一 様	児島 ゆう子 様	中村 光一 様	森本 正信 様
飯島 岳史 様	米谷 栄二 様	夏井 敬史 様	森本 由起子 様
飯野 充彦 様	今野 均 様	長谷川 一男 様	山口 剛史 様
伊藤 秋津 様	今野 裕太 様	馬場 健太 様	山口 徳行 様
伊藤 朋子 様	今野 義之 様	浜脇 文子 様	山中 さとえ 様
井上 貴博 様	齊藤 剛毅 様	林 諭 様	山中 正竹 様
伊橋 舞 様	佐々木 千昭 様	原 誠孝 様	山野上 啓子 様
岩田 慶隆 様	佐々木 直也 様	春野 幸生 様	吉川 高弘 様
植田 雅美 様	佐藤 淳一 様	坂東 聰 様	吉田 奈美 様
魚住 佐恵 様	嶋田 年比于 様	平井 裕二 様	吉田 正博 様
内田 明子 様	清水 泉 様	平尾 薫丸 様	Larson Justin
大久保 雄一郎 様	清水 恵子 様	平元 彩 様	Collier 様
太田 弘 様	清水 大樹 様	廣田 尚久 様	渡部 公 様
大原 ヒサ 様	進藤 昭夫 様	樋渡 安博 様	渡辺 健 様
小澤 健三 様	杉山 慎也 様	福井 英治 様	渡辺 則誠 様
小野山 章久 様	鈴木 勲 様	藤井 章 様	渡邊 真澄 様
柿澤 有希子 様	鈴木 恵一朗 様	藤井 裕子 様	
加島 隼人 様	鈴木 直亮 様	マーティン	オーガニック・
片山 かなみ 様	鈴木 祐二 様	ジャック 様	マネジメント・
門口 剛大 様	高山 肇 様	松井 敬一 様	コンサルティング
金森 めぐみ 様	竹峰 誠一郎 様	松浦 博之 様	株式会社 様
加納 健 様	田中 勤 様	松山 昌弘 様	
壁谷 利秀 様	千代 継 様	三橋 加奈子 様	株式会社文明堂 様
鴨門 亮太 様	千原 遠見彦 様	三戸 和明 様	
川島 慎也 様	辻 信子 様	三冨 千恵子 様	株式会社ヨコレイ 様
河村 良昭 様	出口 武志 様	峰尾 芳男 様	
菊地 晶紀 様	戸塚 由美子 様	村田 卓 様	協思会 代表
			澤村 成 様

多くの皆様からたくさんのご寄附をいただきました。
ありがとうございました。

平成30年度 よこはま夢ファンドの報告 — 支出の部 —

●登録団体助成金 ……42事業に、総額21,721,741円を助成

子育て支援、芸術、国際交流、子ども教育、環境についての啓発など、登録団体が実施するさまざまな取組に助成しました。

✿平成30年度第1回登録団体助成金✿

	団体名	事業名	交付金額
1	ひだまりの森	親子の孤立を防ぎ、社会参加への力を育むための「小さなしゃべり場」拡充事業	120,000円
2	こんにちは・国際交流の会	国際交流事業～「バス研修旅行」～	200,000円
3	カウンセリングオフィスSARA	カウンセリング事業	1,500,000円
4	地域コミュニティネットワーク・ヨコハマ	地域団体・企業・市民の連携による地域交流会開催事業	300,000円
5	アース・エコ	親子で実践する地球温暖化対策	135,000円
6	鶴見川流域ネットワーク	バクの流域ワンダーランド 学習スタンプラリー2018	100,000円
7	横浜シュタイナーこどもの園を育てる会	子育て支援事業(親子の交流会開催、講座開催、冊子発行)	810,000円
8	Umiのいえ	子育て中の親を中心にした集い、学び、思いの分かち合いの場づくり活動	343,000円
9	神奈川県転倒予防医学研究会	「転倒予防教室」の開催 「転倒予防のいろは・講演」・「転倒予防運動」・「体力測定」の実施	192,000円
10	楠の木学園	楠の木学園和太鼓及び道具一式の補修メンテナンス事業	500,000円
11	はぐくみ心理相談所	スカイプ技術を活用した相談事業	192,180円
12	こまちがらす	子育ての孤立感を埋めるSDGsワークショップ事業	70,000円

✿ 平成30年度第2回登録団体助成金 ✿

	団体名	事業名	交付金額
1	インフォメーションギャップ バスター	電話におけるコミュニケーションバリアフリー化事業	200,000円
2	ヴィエムシイ	講演会の開催	104,500円
3	神奈川県防犯セキュリティ 協会	「防犯機器ガイドブック」の発行	135,700円
4	スマイルオブキッズ	滞在施設運営事業	1,500,000円
5	Umiのいえ	子育て中の親を中心にした集い、学び、思いの分かち合いの 場づくり活動	114,000円
6	ミニシティ・プラス	ミニヨコハマシティ2019	725,804円
7		特命子ども地域アクタープロジェクト	195,207円
8	在日外国人教育生活相談 センター・信愛塾	「居場所」を使用した、自己表現と想像力を育む「デザイン教 室」と自立につながる「学び直し教室」	1,000,000円
9	ピースデポ	「核兵器・核実験モニター」発行	2,000,000円
10	横浜こどものひろば	人間に出会う舞台芸術体験	180,000円
11	横浜移動サービス協議会	第5回 チャレンジ・ド・コンサート	270,000円
12	海の森・山の森事務局	「水育」子どもたちへの環境教育と流域住人環境意識改善の 実現	1,095,000円
13	WE21ジャパン・旭	地域市民の国際的な意識の自覚を促進する事業(共育事業)	20,000円
14	アジア図書館ネットワーク	アジア諸国への図書寄贈	41,900円
15	総合プロデュース協会	健康セミナー事業“これだけは知っておこう！”	140,000円
16	パオパオの木	NPO設立広報事業	70,000円
17	横浜子どもホスピスプロジェ クト	こどもホスピス・小児緩和ケア啓発シンポジウム	1,300,000円
18	リンクトゥミャンマー	地域で暮らすミャンマー人が主体的に実施する、多文化共生 社会を目指した国際交流事業	70,000円
19	フォーラム・アソシエ	団体広報事業	70,000円
20	ぷかぷか	みんなでワークショップ	292,000円
21	WE21ジャパン・ほどがや	フェアトレードショップのマップ作りに向けた調査活動	70,000円
22	パノラマ	持続可能な法人運営のための経営基盤作り	70,000円
23	よこはま里山研究所	里山とかかわる暮らし～街なかで集う「土間づくり」プロジェク ト	612,000円
24		よこはま里山レンジャーズ 人材強化プロジェクト	300,000円

✿平成30年度第3回登録団体助成金✿

	団体名	事業名	交付金額
1	神奈川県防犯セキュリティ協会	『防犯技術セミナー』の実施	43,450円
2	神奈川県環境学習リーダー会	「第25回市民環境活動報告会」	50,000円
3	よこはまチャイルドライン	子どもの電話相談事業	360,000円
4	ひだまりの森	「子育て期の相談」相談員養成・スキルアップ事業	100,000円
5	横浜シュタイナー学園	横浜シュタイナー学園の運営事業	6,060,000円
6	肺がん患者の会ワンステップ	第16回 第17回 おしゃべり会(1月13日・3月16日)	70,000円

●組織基盤強化助成金 …… 8団体に、総額2,400,000円を助成

継続して活動を続けていくための「体制づくり」の強化を図る取組、組織の人材育成、広報の強化など、登録団体の組織基盤を向上させる取組に助成しました。また、取組の効果を高めるために、横浜市からファシリテーターを派遣し、助成団体が組織・活動を自己評価する機会を設けました。さらに、助成団体同士が現況を報告したり、お互いにアドバイスをし合う情報交換会を平成30年10月19日に開催しました。

✿平成30年度組織基盤強化助成金

	団体名	申請内容	交付金額
1	横浜スケートボード協会	海外と比較した国内・県内のスケートボードの現状について理解を促進し活動を活性化するための広報力を強化する取り組み	300,000円
2	ひだまりの森	活動を継続するための組織力強化事業	300,000円
3	Umiのいえ	WEBサイトの改善	300,000円
4	神奈川県転倒予防医学研究会	「転倒予防教室」開催の為の人材育成事業 「転倒予防サポーター」・「転倒予防運動トレーナー」・「体力測定要員」の育成	300,000円
5	ミニシティ・プラス	NPO設立10年の軌跡まとめと、それを活かしたファンドレイジング整備事業	300,000円
6	こまちぷらす	NPOでの働きがいと働きやすさ、関わりがい・関わり続けやすさの体制強化	300,000円
7	スマイルボディネットワーク	「女性が活躍できる」企業様向け健康セミナーご紹介体制構築	300,000円
8	ぷかぷか	ホームページの作り直しによる広報力強化事業	300,000円

●専門アドバイザーの派遣

会計処理の仕方を見直したい、行っている事業に関わる税金の種類や金額を確かめたい、雇用関係の規定が十分な内容になっているか確かめたいなど、団体が個別に抱える会計税務や労務に関する課題について、市民活動団体の運営に詳しい専門家(税理士や社会保険労務士、建築士)が、団体の事務所に直接伺い、アドバイスを行いました。

※よこはま夢ファンドでは、専門アドバイザー派遣を受ける際に必要な費用の一部を助成しています。

【平成30年度の実績】 助成金額： 計187,920円
(派遣回数：税理士6件、社会保険労務士4件、建築士1件 計11件)

【派遣を受けた団体の声】

- ・就業規則や雇用に関する詳細もわかり、大変勉強になりました。
- ・労働保険料年度更新や社会保険算定基礎届の記入方法を丁寧にご説明いただき、とても助かりました。
- ・労働保険、雇用保険、社会保険等の手続きを行うことや、個人に対しては雇用契約書を作ることが、モチベーションを高めること、リスク管理のために大切であることがわかりました。ありがとうございました。

●各種講座の開催

1年間の会計処理の流れやNPO法人の会計基準／税金について、労務に関する規程や保険、雇用に関して必要な手続きについて、事業計画やPR、リーダーシップ等、組織の運営に必要な考え方やスキルについてなど、団体の会計、税務、労務、組織運営に関する講座を、市民活動団体の運営に詳しい講師を招いて、実施しました。

【平成30年度の実績】 講座名、講座開催数、延べ参加者数

- ・NPO運営基礎講座 1回、22名
- ・よこはまNPO会計塾(基本編) 4回、32名
- ・NPO法人トップマネジメントセミナー 1回、22名
- ・よこはまNPO労務塾 2回、18名
- ・NPO法人ブラッシュアップセミナー 1回、17名
- ・寄附集めに関する講座 1回、41名

【講座を受けた団体の声】

- ・簿記を全く知らなかったので、基礎から教えていただきとてもよく分かりました。
- ・特に経験がないまま会計業務をしてきましたが、今回の研修でいろいろな点を確認することが出来て、とても参考になりました。
- ・NPO法人設立、運営に関する概要についてとても良く理解することができました。

● 中間支援組織による相談事業

新たな事業をはじめめるために類似事業の視察を行いたい、無理のない補助金や助成金の活用方法について知りたい、子どもが参加できる地域行事の企画及び運営方法について知りたいなど、団体が個別に抱える運営上の課題について、専門性を持つ中間支援組織等が、団体の事務所に直接伺い、相談を受けました。

※よこはま夢ファンドでは、中間支援組織による相談事業を受ける際に必要な費用の一部を助成しています。

【平成30年度の実績】 助成金額： 計328,320円
(派遣回数：19件)

【派遣を受けた団体の声】

・子ども達が主催側になって運営することがどのくらい大変なことなのか見当がつかなかったが、実例を聞かせていただきスッキリしました。

助成金を活用した事例紹介

～ 助成金を活用した登録団体の取組と感想をいくつかご紹介します ～

< 登録団体助成金を活用した団体の声 >

特定非営利活動法人 インフォメーションギャップバスター 『電話におけるコミュニケーションバリアフリー化事業』

インフォメーションギャップバスターは、コミュニケーションバリアフリーを推進し、誰もが等しく電話でコミュニケーションをとることができる社会を目指して、「電話リレーサービス※」を広める活動に取り組んでいる団体です。

聴覚障害や言語障害などの理由により、電話を使えない方が国内で100万人以上いると推定されますが、このような方々をサポートするための「電話リレーサービス」が日本ではまだ公共インフラとなっていないという問題があります。世界では25カ国以上が既に公共インフラとなっています。

平成30年度は、よこはま夢ファンド助成金を活用して、啓発シンポジウムの開催や、啓発パンフレットの作成、コールセンターやカスタマーサービスに関する展示会出展などを通して啓発活動を行いました。

展示会のブースには200名以上の来場があり、電話リレーサービスの概要や必要性を説明しました。また、電話が使えないことによる困りごとを紹介したワークショップには、企業のお客様窓口やコールセンター担当の方など50社以上いらっしゃり、熱心にメモを取る様子も見られ、大盛況でした。

展示会開催後に企業からの問い合わせも数社あり、電話リレーサービスの理解や導入に向け、聴覚障害者の電話におけるバリアを解消する良い機会になりました。

※聞こえない・聞こえにくい人と聞こえる人を電話リレーサービスセンターにいる通訳オペレーターが“手話や文字”と“音声”を通訳することにより、電話で即時双方向につなぐサービスのこと。



<組織基盤強化助成金を活用した団体の声>

特定非営利活動法人 横浜スケートボード協会

「海外と比較した国内・県内のスケートボードの現状について理解を促進し活動を活性化するための 広報力を強化する取り組み」

平成29年5月に特定非営利活動法人として活動を開始したため、協会の知名度も認知度も低いと感じていました。そのため、スポーツ・カルチャーとしてのスケートボードの認知を高め施設の向上を目指すという当会の活動趣旨への理解と協力を促進するため、ホームページを制作しました。自己評価では、スケートボードの関心層以外の人にもっと積極的に情報発信することが大切であり、そのためには、「ヒト・モノ・カネ」が必要ということに気づきました。

今後は、このホームページを活用し、スケートボード一般について、当団体の考え方・活動についての広報力を強化しながら、市民の皆様実際にスケートボードを体験していただく機会を増やしていきたいと考えています。

特定非営利活動法人 ひだまりの森

「活動を継続するための組織力強化事業」

相談内容の変化やスタッフの世代交代の中で今後も安定した活動を継続することを目的に、組織の在り方の見直しを行いました。講師や他団体を訪問し、客観的に運営課題を考えることができました。そして、収益を得ることに罪悪感があることに気付くことができ、この気付きから収益を得る発想に転換でき、法人全体で今後の活動を考えられるようになりました。自己評価では、漠然と抱えていた活動の課題が可視化され、参加者各自が活動への関わりを考え話し合うことで、共有することができました。

今後は、他のスタッフの意見も出し合い、法人全体で活動について考えていきたいです。また、課題から活動の新たな展開が生まれるよう具体的な内容を積み上げ、法人全体の意識向上や連帯感を育み活力にしていきます。

NPO法人 Umiのいえ

「WEBサイトの改善」

活動10周年を迎え、関わる内容が多様になってきたため、現在のWEBサイトの機能では活動内容が伝わりにくくなってきたという課題がありました。そこで、必要とする人に当法人のサービスが届けられるよう、WEBサイトの改善を行う中で、団体の活動に関わる一人一人が抱えている団体のイメージや未来像をすり合わせし、普段の活動にもそれを反映することができました。自己評価では、スタッフそれぞれがアイデアの種を持っており、いかにスタッフがUmiのいえを大切に思っているか、これからの社会への必要性を実感しているかが、確認できました。

今後は、この活動を広げていくことが具体的な行動目標となったため、今後の希望として挙げた内容について、できることから順番に実行していきます。

特定非営利活動法人 神奈川県転倒予防医学研究会

「「転倒予防教室」開催の為の人材育成事業

「転倒予防サポーター」・「転倒予防運動トレーナー」・「体力測定要員」の育成」

平成29年3月より毎月4回、高齢者の自立支援と健康寿命延伸を目的に「転倒予防教室」を開催しています。複数の団体から開催要望はあるものの、人材不足により要望に応えきれない現状がありました。そのため、「転倒予防教室」を継続的に開催できるよう、参加者の現在の脚力を測る「体力（健脚）測定要員」や計測結果を基に転倒防止運動を指導する「転倒予防運動トレーナー」候補者の育成を行いました。その結果、転倒予防運動指導方法に統一性が生まれ、体力測定会では安全性が増し、測定速度も速くなりました。自己評価では、今後の活動の課題や期待すること、その解決策や具体策について話し合いました。

今後は、自己評価で行ったグループワークを取り入れ、自らが目的と目標を持って、自主的に活動できるメンバーを増やしていきたいです。

NPO法人 ミニシティ・プラス **「NPO設立10年の軌跡まとめと、それを活かしたファンドレイジング整備事業」**

平成20年にNPO法人となり10年が経過しましたが、今までの事業の見直しや団体の人材・知財・財政について検討する機会を設けることができず、パンフレットも設立当初の内容のままとなっていました。そこで平成30年度に認定NPO法人化を目指す機会を活かし、現在までの経緯をまとめたパンフレットやPR動画の制作を行いました。その過程で、団体設立に関わった理事へのインタビューや、団体内での共有、会員内での活動の価値について話し合うワークショップを行いました。自己評価では、改めて参加者一人一人の団体への関わりたいイメージを共有し、問題点についてみんなで可視化することができました。今後は、個人個人の思いや事情を話し合う機会を節目節目にもち、団体内でお互いの気持ちを共有していきたいです。

特定非営利活動法人 こまちぷらす **「NPOでの働きがいと働きやすさ、関わりがい・関わり続けやすさの体制強化」**

NPO法人における働き方・関わり方は、多様かつ複雑であるだけではなく、今後は更に副業先の受け皿としての期待やノマドワークや在宅仕事を組み合わせた柔軟な勤務体制整備が求められています。当団体としても、柔軟性や働きやすさを保ちつつも、細やかな体制整備を行う必要がありました。そのため、外部の社会保険労務士等の意見を参考にしながら働き方の整理を行い、結果的にカフェスタッフの業務軽減につながりました。また、各自が理解しておくべき「情報の範囲」を確認し、できるだけ労力を使わず必要な情報を把握できるように、多数あった情報共有ツールを一本化しました。自己評価では、組織運営や情報共有について「見える化」し、得られた問題点を解決すべく、あらためて個々の団体へ関わりたいイメージを共有することができました。

今後は、必要に応じて専門家に助けを借りながら、現状に満足することなく、今後も日々一人一人が働きやすい環境づくりに努めていきたいです。

特定非営利活動法人 スマイルポティネットワーク **「『女性が活躍できる』企業様向け健康セミナーご紹介体制構築」**

当NPOは平成18年に設立し、女性医療と提携した運動療法の開発・普及とネットワークづくりを目指している団体です。継続的なセミナー開催機会を得るため、企業様に健康セミナーを紹介したり、契約していただけるような営業基盤を構築することが課題でした。そのため、営業力を強化する研修を実施し、パンフレットや名刺の作成を行いました。自己評価では、当NPOが強みとする女性医療との連携や、独自メソッドにより、女性の健康増進をご支援できることの訴求が今後の活動で重要になることがわかりました。

今後は、企業向けの営業活動を進めていき、当NPOの活動範囲を広めていくと同時に、活動が持続的に実施できる財政基盤を構築していきます。

NPO法人 ぷかぷか **「ホームページの作り直しによる広報力強化事業」**

当団体のホームページは、5年間で26万件を超えるアクセスがありますが、膨大な情報がうまく整理されていませんでした。そのため、はじめてホームページを訪れた人にも活動内容がわかりやすいものにすることが課題となっていました。今回、ホームページの作り直しを行う中で、これまでの活動を振り返り、小さなことにも大切なものがあると感じることができました。自己評価では、団体の足りないものやその改善策について話し合いました。参加者一人一人が自分の意見を発表することで、普段はなかなか意見を共有する機会のない他部門のスタッフとも意見を共有することができました。その中で、基本的な方向性でも、スタッフの間で理解されていない部分があることに気づくことができました。

今後は、基本的なことでも、丁寧に情報発信するために情報発信の仕方を工夫していきたいです。

よこはま夢ファンドへのご寄附の方法

- 寄附をしたい！と思われましたら、まず寄附のお申し込みをお願いします。寄附の納付に必要な書類を担当課からお送りします。寄附の納付は、横浜市からお送りする納付書による金融機関（銀行、ゆうちょ銀行等）でのお手続き、もしくはインターネットを利用したクレジットカード決済をお願いします。
- 寄附していただく金額はおいくらでも結構ですが、クレジットカード決済の場合は5,000円以上から可能です。横浜市外にお住まいで10,000円以上ご寄附いただいた方には、返礼品としてみなとぶらりチケットワイドを2枚贈呈します。

横浜市あてに寄附申込書を送付してください。
(郵送、電子申請、電子メール、FAXなど)

郵送による寄附お申込みの例

横浜市市民活動推進基金
「よこはま夢ファンド」寄附申込書

私は、「横浜市市民活動推進基金」の目的に賛同し、横浜市に対して次のとおり寄附します。

寄附金額	円
フリガナ	
お名前	
ご住所	
電話番号	
メールアドレス	

★支払い方法(いずれか1つを指定してください。□にチェックを記入してください。)

□ 郵付による金融機関での支払い
□ インターネットを利用したクレジットカードによる支払い(5,000円以上の方のみ)
□ 口座振替による支払い(口座を指定してください。)

★ 希望する公開状況 (複数選択可)

□ 名前を公表してほしい (返金通知は公表してほしくない) A
□ 名前を公表してほしくない (返金通知は公表してほしくない) B
□ 名前を公表してほしくない (返金通知は公表してほしくない) C

電子申請による寄附お申込みの例

よこはま夢ファンド寄附申し込みフォーム

申し込み内容の入力

操作手順のご案内

★電子申請によるお申し込み

よこはま夢ファンド 検索

寄附申し込みフォーム

QRコード

★電子申請によるお申し込み

寄附申し込みフォーム

★ハガキによるお申し込み

よこはま夢ファンドのリーフレットに
ついているハガキ

寄

附

金融機関での納付書払い

横浜市から郵送される「納付書」でお近くの金融機関窓口にてお手続きください。※手数料はかかりません。

インターネットを利用したクレジットカード払い

横浜市から届くメール情報をもとに「Yahoo! 公金支払」HPでお手続きください。

横浜市から届く
①お礼状、②寄附金受領証明書(インターネットを利用したクレジットカード払いの方のみ)をお受け取りください。

税
の
控
除

ご自身で確定申告をする場合

寄附金受領証明書または納付書兼領収書をもとに、税務署にて確定申告のお手続きをしてください。

ふるさと納税ワンストップ特例制度の適用をご希望の場合

横浜市あて
寄附金額税額控除に係る申告特例申請書を提出してください。

※ 詳しくは、市民局市民活動支援課「よこはま夢ファンド担当」までお問い合わせください。

TEL 045-227-7965 FAX 045-223-2032

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodomanabi/shiminkyodo/shien/yumefund/>

●返礼品について

横浜市外にお住まいの10,000円以上ご寄附いただいた方には、みなとぶらりチケットワイドを2枚贈呈します。

(地方税法が改正されたことにより、令和元年6月1日より市内にお住まいの方には返礼品をお送りしていません。)

[みなとぶらりチケットワイド]

横浜ベイエリアの市営バス、市営地下鉄一日乗車券。
地下鉄「新横浜駅」も乗り降り自由です。

[適用区間]

市営バス:横浜～元町・港の見える丘公園、三溪園
市営地下鉄ブルーライン:横浜駅～伊勢佐木長者町駅、新横浜駅



●よこはま夢ファンドリーフレットについて

平成29年度から、よこはま夢ファンドリーフレットをリニューアルしました。フルカラーにして、返礼品についても記載しています。

リーフレットは、各区市民活動支援センターや各区社会福祉協議会等に配布していますので、ぜひご利用ください。





令和元年9月発行

<お問い合わせ>

横浜市市民局市民活動支援課 よこはま夢ファンド担当

TEL 045-227-7965 FAX 045-223-2032

URL:<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/shiminkyodo/shien/yumefund/>

(〒231-0062 横浜市中区桜木町1-1-56 みなとみらい21クリーンセンタービル7階)